

# 多職種が関わり より効果的なリハビリを

---

デイサービスでのリハビリの充実

デイサービスセンター  
グレイスフル岡谷

# 事業所紹介

---

# デイサービスセンター グレイスフル岡谷

平成14年5月開所

グループホーム(1ユニット)併設

定員35名

---

## スタッフ

生活相談員 1名

看護職 2名

理学療法士 2名

介護職 7名



## 取り組んだ課題

- ・令和3年5月よりリハ職を増員
- ・個別リハビリの充実
- ・リハビリの実施方法により、効果にどのような差があるか？

# 取り組み期間 メンバー

令和3年9月～令和3年10月

全職員が参加

生活相談員 理学療法士

看護職員 介護職員

# 具体的な取り組み

- 対象者の選定、事前評価
- 評価のためのアンケート実施
- 利用者様の目標の共有
- リハビリ職員以外の職種の関わり方を検討(身体面、精神面)、実施
- 効果測定

# 具体的な取り組み①

## 対象者の選定

※性格が対照的なお二人を選定

- ・個別リハビリのみ実施されるN様
- ・個別リハビリと集団での活動に参加できそうなO様

## 具体的な取り組み①

### 対象者①【N様】

男性 78歳 要介護1

A2 II a 2日/週 利用

奥様と一緒にDSをご利用。

大きな既往はないが、行動が少ないことによる身体機能の低下みられる。

自宅では台所でほとんどの時間テレビを見て過ごす。

身の回りのことは概ね自立。



## 具体的な取り組み①

### 対象者②【〇様】

男性 83歳 要介護4

B2 IIa 2日/週 利用

奥様と二人暮らし。脳梗塞の後遺症により失語によるコミュニケーション障害あり。歩行能力はあるが、転倒のリスクから車椅子を使用する機会が多い。

# 具体的な取り組み①

## 事前評価

ご家族、職員により、評価項目ごと点数化し、平均点で評価する。身体機能だけでなく、生活の中での自立度を評価するために、体力測定以外の評価項目で実施した。

# 具体的な取り組み①

## アンケート内容【ご家族】

(ある:2点 時々ある:1点 ない:0点)

- ご本人から話すことがあるか
- 趣味活動をしているか
- デイサービス以外に外出するか
- ご本人から出かけたたいという発言が聞かれるか
- 自分で服を選んでいるか
- 一日の出来事を自分から話すか
- 日中ベッドで寝ている時間

# 具体的な取り組み①

## アンケート内容【職員】

(ある:2点 時々ある:1点 ない:0点)

- ご本人から話すことがあるか
- ご自分から動きだすことがあるか
- テーブルでの作業に取り組んでいるか
- リハビリ以外で運動しているか
- 日常会話をしているか
- トイレ、洗身、更衣をご自分でやろうとされるか

# 具体的な取り組み①

## 事前評価の結果

【N様】 2. 75点

【O様】 3. 00点

## 具体的な取り組み②

利用者様の目標を確認、共有

PTがアセスメントする中で、リハビリ目標を設定、多職種と共有

## 具体的な取り組み③

〇様へのリハビリスタッフ以外の関わり方法を検討

個別リハビリ以外の関わりによる効果を期待

## 具体的な取り組み③

### 【身体面】

- ・毎回マシントレーニングへお誘い
- ・集団体操へお誘い
- ・手作業レクを他の利用者様と一緒に実施



# 具体的な取り組み③

## 【マシン 集団体操】



## 具体的な取り組み③

### 【精神面】

- ・介護に関わること(トイレ誘導等)以外の話を職員からする。
- ・送迎時に奥さんに一日の出来事をお伝えし、ご自宅でも会話ができるように促す。

## 取組後のお二人の変化

【N様】 2. 75点⇒3. 25点

- ・杖の持ち方が改善された
- ・一緒に通われる奥様と話されることが多い

## 取組後のお二人の変化

【O様】 3点⇒9. 75点

- ・ご自分から挨拶されることが多くなった
- ・表情が明るくなった
- ・ご自分の考えを自発的に話されるようになった
- ・立位が安定した

## 取組後のお二人の変化

お二人とともに、デイサービスに通うことでの効果は見られた。

リハビリ職員以外が積極的に話しかけ、集団活動にお誘いしたO様は劇的な改善が見られた。

## 今後の課題

お二人の性格の違いはあるが・・・

個別リハビリ以外に他の職種の間わりが追加されることで効果が高まった。

個別リハビリ以外の充実が今後の鍵。

ご清聴ありがとうございました